

5月13日

5校同時開催「引き渡し訓練」

瑞浪北中校区小中学校

警報発令時を想定して、「引き渡し訓練」を実施しました。瑞浪市の総面積の約7割を占める瑞浪北中校区の小中学校5校が同日に行いました。

小学校の児童の引き取りを優先させ、その後中学校で引き渡しを基本としました。初めての引き渡しということで、決してスムーズにはいきませんでした。今後の課題が明確になったということは大きな収穫でした。

明らかになったことをいくつか挙げると

- 1 学校近辺の引き取り経路において職員を配置したが不十分な箇所があり、今後配置する箇所の再検討が必要である。配置職員の中で経路侵入口に立つ者には、旗ではなく、「引き取り入口」と明記した大型の表示をもたせる。
- 2 生徒の氏名を聞き取る職員は、最低二名は必要である。
- 3 今回生徒を教室に待機させていたが、より早い乗車を可能にするためには、学年ごとに生徒を一か所に集めておく。(二つの多目的室とラーニングコモンズを使用する。)
- 4 引き取りに来る車が集中するので、引き取り時間を学年ごとに指定する。
- 5 徒歩で引き取りに来る場合の経路について明確にすべきである。

訓練のこの日は天気が良く、訓練には最適の一日でした。しかし、引き渡しを実施するときの天候は、雨風共に強い荒れた日です。持ち場で車を誘導する職員や、引取りにやってくる保護者の負担はこの日の比ではないはず。今後、より良い引き渡しの方法を求めて改善していきたいと思えます。